

親睦活動月間に際して 親睦は石垣、奉仕は城

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



本年度の地区方針は「ひとりひとりの輝きであなたの地域を輝かそう」であります。サブタイトルとして「親睦は石垣、奉仕は城」そしてめざすは「楽しいロータリー、待ち遠しいロータリー、わくわくするロータリー」といたしております。親睦を基礎にすることにより、様々な奉仕活動がスムーズに行われるのではないのでしょうか。

各クラブでは会員の減少により、活力が減少している傾向にあります。クラブ内の親睦から、他クラブを交えた親睦に目を向けることによって、活力を取り戻していただきたい。

また、クラブ間で交流することによって活力を感じていただきたいとの思いがございます。

親睦の第一は、交わることです。お互いに顔を会わせることです。そのような主旨で、本年度は様々な行事を行いました。

まずは、若手ロータリアンの会を3回実施いたしました。地区全体で集うことにより、ロー

タリアンとしての結束を高めたと思っております。

また、親睦を高めるために、同好会も有効な手段であります。野球同好会は全国的な運営をしていて、毎年、甲子園球場を目指して他クラブと競い合っています。

今年度、地区大会の後で、フェスティバルホールを貸切りまして、音楽同好会を実施いたし、9クラブのコーラス、軽音楽等が集い楽しみました。その時には、大阪アーバンロータリークラブの方々がお手伝いをしていただき、ロータリーの親睦と友情を発揮していただきました。あらためてお礼申し上げます。

また、5月5日には「ロータリーフェスティバル」を実施し、約930名のパレード、友愛の広場、献血、コンサートなど、ロータリアンのみならず、そのご家族、ローターアクト、インターアクト、米山奨学生などの多くの方々が集い楽しみました。

